

* 今後の教材・プログラムの方向性 *

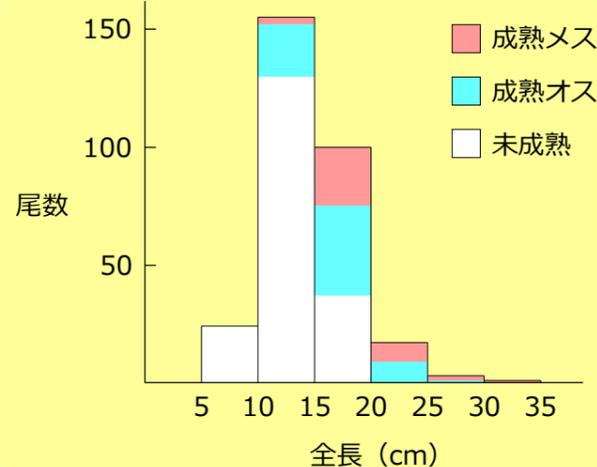
溪流釣りの振興や自然繁殖の魚の持続的利用を目指して各地域の漁協や水産試験研究機関での活用が期待されます。



漁協組合員が遊漁者向けのイベントや地元小学校の総合学習で実施



水産試験研究機関の職員が施設見学や出前授業で実施



全長組成や性比のデータがあれば各地域の独自の教材を製作可能

溪流釣りのルールを解説する教材・プログラム

魚つりのはなし

教材・プログラムの詳細については、岐阜県水産研究所下呂支所 (Tel. 0576-52-3111) または国立研究開発法人水産研究・教育機構中央水産研究所沿岸・内水面研究センター (Tel. 0288-55-0055) におたずねください。

2020年1月24日 発行

溪流釣りのルールを解説する教材・プログラム「魚つりのはなし」

編集 岸 大弼¹・宮本 幸太²・徳原 哲也^{1,3}

¹ 岐阜県水産研究所下呂支所

² 国立研究開発法人水産研究・教育機構中央水産研究所沿岸・内水面研究センター

³ 現所属：岐阜県農政部里川振興課

発行 岐阜県水産研究所

〒501-6021 岐阜県各務原市川島笠田町官有地無番地



2019年7月、溪流釣りのルールを解説する教材・プログラム「魚つりのはなし」を製作しました

* プログラムの実施例 *

* 教材・プログラムの概要 *

溪流魚の紹介



ヤマメ
アマゴ
イワナ

漁協の業務の紹介



放流・産卵場造成、
漁場管理 など

溪流釣りのルールの紹介



- ・遊漁券を購入する
- ・体長制限を守る
- ・禁漁区では釣らない



漁協の講習会やイベント

1. 魚の模型を使った釣り体験



模型の数・全長・性別は実際の川の
個体群の調査データに準拠

アマゴ版のほか、イワナ版やヤマメ版も製作
(プログラムの実施地域に応じて選択可能)

2. いろいろなルールで釣り体験



体長制限なし/15cm制限/20cm制限
禁漁区なし/禁漁区あり など

3. 川に残った魚 (特にメス) の数を調べる



4. 抱卵数も調べ、各ルールの結果を比較

結果の一例 (アマゴ版 15cm制限の場合)

禁漁区なし ルール 禁漁区あり



2尾 川に残ったメス 3尾

90粒 抱卵数 **210粒**

卵に注目して 禁漁区の効果や意義を説明

伝えたいこと

溪流釣りをこれからも楽しむ
ためには、自然繁殖の魚を
持続的に利用することが大切

放流だけでなく、**体長制限**や
禁漁区を組み合わせることで自然
繁殖の魚を増やすことが大切

* 受講者の感想、意識の変化 *



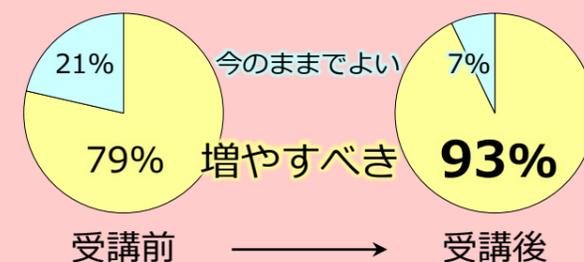
遊漁者：わかりやすかった、勉強になった

小学生：漁協のことや漁協の活動を初めて知った、
魚つりに行きたくなった

保護者：とても面白かった、子供も理解できた など

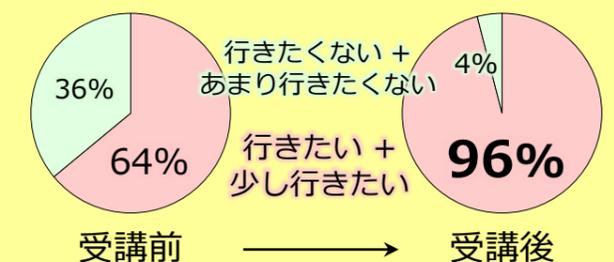
「禁漁区の数」に関するアンケート

(2019年12月 和歌山県七川漁協・古座川らんど講習会14名)



「魚つり」に関するアンケート

(2019年12月 栃木県日光市立清滝小学校総合学習25名)



* 子供が川へ行く時は、保護者の責任・監督のもと、事故のないよう配慮してください *